

固定資産税(土地)						
業務区分		機能要件		対応区分		備考
				○:標準対応 △:カスタマイズ ×:対応不可	カスタマイズ規模(人月)	
基本機能	基本機能	1	検索する際に、前方一致、後方一致等、曖昧検索が可能であること。			
		2	検索結果の一覧表示で、項目のソートや表示件数の変更等を調整できること。			
検索・照会	地番・筆属性等検索	3	町名、町コード、を指定して検索を行い、該当筆を表示できること。また、組み合わせによる検索もできること。 町コードについては、現在構築中の基幹税務システムで使用予定のコードを使用すること。			
	名寄せ検索	4	所有者(共有構成員含む)で名寄せし、名寄せした結果より該当筆を検索、表示できること。			
	筆界未定地番検索	5	筆界未定地の構成地番で検索し、表示できること。			
	現地確認不能地等の地番検索	6	地番検索について、現地確認不能等で該当筆が図面上存在しない場合に、近傍の筆を表示できること。			
	路線価・農地等情報検索	7	指定する検索条件(路線番号、状況類似番号等)で検索できること。			
画面表示	土地情報表示	8	一筆ごとの町名、地番、地目(登記、現況)、地積(登記、現況)等の筆情報および筆状態(筆界未定等)が表示できること。また、図面を表示したまま、土地の情報(画地情報、宛名情報、共有情報およびメモ情報等)が表示できること。 筆界未定の表示方法は、法務局の地図と合わせること。			
	家屋評価情報表示	9	指定する項目(義務者コード、義務者氏名、物件番号、現況情報等)について、家屋の底地番と地番を関連付けて表示できること。			
	画地情報表示	10	複数画地を構成している筆の一覧(所在地、地目、所有者等)および画地の合計地積等の情報が確認できること。			
	着色等表示	11	登記地目、現況地目、里道・水路、所有者別等により色分け表示できること。また、ベタ塗りだけでなく、網掛け等、様々なパターンで着色できること。 線種、透過率等も変更できること。			
	ファイリング機能	12	図面上の筆、一筆毎に任意のファイル(Word、Excel、現場写真等)を関連付けができること。			

固定資産税(土地)						
業務区分			機能要件	対応区分		備考
				○:標準対応 △:カスタマイズ ×:対応不可	カスタマイズ規模(人月)	
	メモ機能	13	筆および画地ごとに特記情報を設定できること。			
	路線価・農地等情報表示	14	用途地区、状況類似地区、路線価格および標準地所在地等が表示できること。			
	航空写真表示	15	登録した最新の航空写真を簡易な操作で表示でき、過年の航空写真は選択制にて表示できること。 新規の航空写真を取り込んだ時点で、最新は選択制に移行できること。			
	複数画面表示	16	時点の異なる航空写真等を2画面以上並べて表示でき、現年度と過年度の比較ができること。その際、属性照会ができること。 2画面の地籍図等と属性照会は最新のデータを表示できること。			
	複数画面表示	17	表示された2つ以上の画面を同期し、片方をスクロール、拡大および縮小させると連動し、一方の画面も同時にスクロール、拡大および縮小できること。 同期を解除したときは、各々が独自に動作できること。			
	砂防地等の表示	18	砂防地、土砂災害警戒区域(急傾斜地、地すべり防止区域、土石流危険区域)(DMデータ)を取り込み、表示できること。			
土地異動	分筆、合筆処理	19	分筆および合筆の異動処理を簡易にできること。			
	土地異動入力	20	その他補正の入力枠は、10個設定できること。			
課税分割	課税分割情報表示	21	課税分割した地図レイヤに属性情報を表示できること。 課税分割した筆界で複数画地を組み計測ができること。			
	課税分割処理	22	課税分割の異動処理が簡易に行えること。また、課税分割線のデータについては、標準フォーマット(Shapeフォーマット等)で簡易に出力できること。 任意で地積、距離等を入力できること。			
	課税分割画面からの面積、地物計測機能	23	課税分割入力画面から、計測等の機能(課税分割筆の距離測定、面積測定、地物測定、角度測定、印刷)が行えること。			
画地計測	画地計測	24	指定した点間の距離、地積、外周距離、3点の角度等を計測できること。			

固定資産税(土地)					
業務区分		機能要件	対応区分		備考
			○:標準対応 △:カスタマイズ ×:対応不可	カスタマイズ規模(人月)	
	画地計測	25	認定した画地の間口、奥行、地積等を算出でき、間口および奥行は、任意の値を入力できること。		
	画地計測	26	想定整形地を生成し、蔭地割合を計測結果から算出し、表示および登録ができること。また、計測の際の想定整形地は後で参照できること。		
	画地計測	27	想定整形地の奥行は道路から垂線で計測できること。なお、間口は任意で設定できること。		
	画地計測	28	側方および二方路線影響加算の際に、該当路線の道路幅員が4m未満の場合には、警告表示できること。		
	画地計測	29	画地間に里道・水路等がある場合や町界をまたいだ画地の場合でも、画地計測できること。		
	画地計測	30	不整形地を区分して整形地が得られるときは、任意の画地図形が形成できること。		
	画地計測	31	無道路地の評価の際には近い奥行、遠い奥行を計測でき、任意の値も入力できること。		
	画地計測	32	同一画地内に現況地目が異なる筆がある場合に警告が表示できること。		
	画地計測	33	路線価地区において、間口、奥行を0で入力した場合、間口、奥行の補正は採用せず、路線価の単価のみが採用できること。 間口、奥行が空欄の場合、エラー表示が出ること。		
帳票出力	帳票出力機能	34	筆属性一覧表、土地名寄せ一覧表、現地調査用資料、画地計測結果、蔭地割合算定結果等の帳票を作成できること。また、帳票作成の際、プレビュー表示できること。 データファイルで出力できること。		
	図面印刷	35	各種属性、航空写真および路線価情報が表示された図面が印刷できること。また、プレビューの状態で図面の位置および縮尺を調整できること。 データファイルで出力できること。		
	地籍図(公図)の交付	36	交付用地籍図については、個人情報、課税情報等を表示しないようにし、注釈が設定できること。		
路線価	路線価算定機能	37	路線の追加、更新および削除ができること。		

固定資産税(土地)						
業務区分			機能要件	対応区分		備考
				○:標準対応 △:カスタマイズ ×:対応不可	カスタマイズ規模(人月)	
セキュリティ管理	セキュリティ管理機能	38	ユーザ権限設定はグループを作成して設定することができ、アクセスログ管理ができること。			
データ連携	基幹税務システムとのデータ連携機能	39	新規で認定した画地(一筆、複数筆問わず)は、全て自動採番により10桁の画地番号を登録、管理できること。 末尾にチェックディジットを付与できること。			
	基幹税務システムとのデータ連携機能	40	基幹税務システムの所要補正コード体系(親コード99×子コード99)、地目および異動事由等の各種コード体系に合わせて、データ連携ができること。 コードの追加についても対応できること。			
	基幹税務システムとのデータ連携機能	41	市街化区分を筆属性に持たせ、属性表示できること。			
	基幹税務システムとのデータ連携機能	42	基幹税務システムの物件所在地の地番表示体系に合わせ、データ連携ができる。 (物件所在地表示例) ・100甲-1 ・100-1地先 ・合併地番例			
	基幹税務システムとのデータ連携機能	43	状況類似番号を8桁の数字に設定できること。			
統計	集計機能	44	町・地目・地積等の各種集計ができること。			
EUC	EUC機能	45	EUCでのデータ出力ができること(CSVフォーマット、Shapeフォーマット、SIMAフォーマット等)。			
	図形データ入力	46	分合筆等の土地異動データを取り込みできること。			
	図形登録	47	換地処分や地籍調査などの大規模な図形の異動について、外部で作成した土地異動データ(地籍フォーマット2000、Shapeフォーマット、SIMAフォーマット等)を取込み、登録できること。			
	路線価等データ入力	48	路線価、標準宅地、状況類似地区等のデータを取り込みできること。			
その他	エラーリスト等出力	49	分合筆等の土地異動データ、路線価等の各種データ取り込み処理において、エラーリストを作成できること。			
	杭の配置機能	50	税務地図表示画面から、杭の配置機能(マウス指定、杭の削除、距離指定、座標指定、2円の交差、2辺の延長交点、隅切り垂線の編集)が行えること。			